

友愛子どもクラブとことこ 活動プログラム

作成日： 令和6年10月1日

| | | | |
|---|--|--|------------------------------------|
| 事業所理念 | わたしたちは、障害を持つ子が健やかに発達し、自立した生活ができるように支援します | | |
| 支援方針 | (1) 子どもたちが、自己表現できる活動内容を提供し、来所することが楽しみになるように努める (2) 一人ひとりをしっかりと観察し、得意なことや興味関心のあることを活かして自立につながる支援をおこなう (3) 保護者が安心感を持って家庭での子育てができるように悩みごとの相談に対して適切な助言をするなど、心の拠り所となるように努める (4) 法令やガイドラインに則した事業運営に遵守し、運営を維持していくための必要な加算を取得しながら、質の高い健全な運営をおこなっていく | | |
| 営業時間 | 平日 | 14時00分～17時15分 | 学校休業日 10時00分～16時00分 |
| 送迎の有無 | あり（学校迎え・自宅送迎） | | |
| 5領域における活動プログラム 5領域（「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」） | | | |
| 活動の流れ | 主な活動 | 狙い・目的 | 5領域 |
| 学校迎え | 送迎車への乗車 危険認知と交通安全 | <ul style="list-style-type: none"> 周囲の車の有無を確認し、安全に歩行する。 支援員の誘導に基づき乗降車する。 シートベルトをつけて座る。 | 認知・行動 |
| 登園（活動準備） | 身支度 制服から私服へ着替える 排泄 体調管理 | <ul style="list-style-type: none"> 連絡帳をかごに提出し指定ロッカーに荷物を入れる。 活動できる服装に着替え、服を畳み袋に入れる。 トイレを済ませる。（支援員と一緒にトレーニング） 衛生を保つため手洗いの習慣を身につける。 自分の体調を支援員に伝える。 | 認知・行動 健康・生活 社会性 |
| はじまりの会 | 挨拶・呼名 一緒に過ごす友達の確認 予定の確認 | <ul style="list-style-type: none"> 挨拶や名前を呼ばれて返事ができる。 友達と一緒に過ごすことを意識する。 1日の流れを知り、見通しを持って過ごす。 | 言語・コミュニケーション、認知・行動 人間関係・社会性 |
| 運動活動 | 散歩・ハイキング 公園遊び、サーキット リズム体操 | <ul style="list-style-type: none"> 脚、腰を使い歩いたり踏ん張ることで筋力をつけ、体幹を鍛える。 姿勢を保持するなど自然環境を活用して心身の健康を保つ。 遊具や道具を利用して体の使い方を学び、イメージする。 リズムに合わせて体を動かす。 | 健康 運動・感覚 |
| 創作活動 | 絵画 塗り絵、貼り絵 粘土 おもちゃ作り | <ul style="list-style-type: none"> 植物や動物、食べ物、景色などを様々な素材を使って創作し季節を感じる。創作を楽しみ、自己表現をする。 表演や工程表を用いて、作り方を知る。 道具の使い方を学ぶ。道具の貸し借りする。 | 生活・感覚 認知・行動 コミュニケーション 社会性 |
| おやつ（食事） | 座って食事をする 下膳・片づけ 身なりを整える | <ul style="list-style-type: none"> 姿勢の保持。スプーンや箸の使い方を学ぶ。 「いただきます」「ごちそうさま」「いる」「いない」等の要求を伝える。 指定場所に下膳し、テーブルを拭いて片づけの習慣を身につける。 口を拭いて清潔にする。 | 生活 運動・感覚 認知・行動 コミュニケーション |
| 自立課題 | 個別教材活動 | <ul style="list-style-type: none"> 個々の課題に応じた教材（自立課題）を使い、一定時間座って取り組む。手先の操作性、目と手の協応を高める。 数・文字等の学習をする。 | 感覚 認知・行動 言語・人間関係 |
| グループ活動 | カードゲーム すごろく・色当てゲーム イス取りゲーム かくれんぼ | <ul style="list-style-type: none"> ルールのあるゲーム、遊びを通じて約束・順番・コミュニケーションなどを学ぶ。 友達と過ごすことを楽しむ。 | 運動 認知・行動 コミュニケーション 社会性 |
| 係活動 | おやつ係 園芸係 カレンダー係 | <ul style="list-style-type: none"> 自らの役割を知り取り組む。 責任をもって取り組み、達成感を得る。 様々な友達と関わることで人間関係を広げる。 友達と協力し、思いやりを持って関わる。 | 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性 認知・行動 |
| 地域活動 | 市街地歩き 買い物 図書館 | <ul style="list-style-type: none"> 信号や交通標識を見て、安全に歩行する。 車・歩行人を意識することで社会的距離感を学ぶ。 地域の人々との交流体験する。 公共の施設を利用して過ごす体験をする。 | 生活・運動 認知・行動 コミュニケーション 社会性 |
| おわりの会 自宅送迎 | 排泄・身支度 帰宅方法の確認 挨拶 | <ul style="list-style-type: none"> 忘れ物が無いかを、自分で確認できるようにする 上着を着る、ファスナー・ボタンの操作、裏表前後の確認をする。 乗車する車、同乗者の確認をする。 安全に乗車する。挨拶をする | 認知・行動 生活・感覚 コミュニケーション |

| その他の支援 | |
|----------|---|
| 家族支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・普段行くことが難しい場所や地域資源に、事業所で利用することで地域で暮らすための様々な経験を積み広げることができる。(買い物体験・レジャー施設) ・保護者の相談や困り感に寄り添い、事業所での取り組みをフィードバックする。 ・前期と半期の年2回、対面方式で保護者と面談を実施し、支援状況の説明や相談やご意見等のやり取りを行っている。 ・ショートステイ利用との連携で、保護者だけでなく兄弟等の生活の向上に繋げる。 |
| 地域支援(連携) | <ul style="list-style-type: none"> ・「学校」、「相談支援事業所」、「他事業所」、「保護者」、「その他関係機関」と情報の共有を行う。(関係者会議、学校見学、モニタリング) |
| 移行支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の暮らしを見据えた支援 地域の人々との交流をしながら一人で買い物ができる。自立した生活を目指す(調理体験・洗濯物等)作業能力の向上。「報告」・「相談」・「連絡」ができるようになる。 |
| 職員の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・人事評価制度を用いて自己分析および客観的視点で業務や支援の振り返りをおこなう。 ・法人内外の研修へ参加し知見を広げる。 ・支援スタッフ会議やケース会議を通してチームアプローチを意識する。 |
| 主な行事等 | <ul style="list-style-type: none"> ・春：進級・卒業を祝う会、豆まき ・夏：水遊び、お店屋さんごっこ、外食 ・秋：ハロウィン仮装・ゲーム、遠足 ・冬：クリスマス会 |